

「財政学」講義要項

高千穂大学経済学部・2004年度・春学期

時間：土曜2限（10:40～12:10）

教室：1301

担当：別所俊一郎（shunitirou.bessho@mof.go.jp）

概要：日本の財政について、具体的な制度を概観しつつ、その機能と役割を、背景にある基本的な経済学の枠組みを用いて理解することを目的とする。春学期は、財政制度の概要とその役割、政府活動の実態をマクロな見地から理解することを中心とし、租税や個別のテーマについては秋学期の講義でカバーする。

評価：定期試験のみを評価の対象とし、出席状況等の他の要因は一切評価の対象としない。

履修条件：ミクロ経済学・マクロ経済学の初歩を理解していることが望ましい。

教科書：とくに指定しない

参考書：

井堀利宏・土居丈朗．2001．『財政読本 [第6版]』東洋経済新報社．

川北力編．2003．『図説日本の財政 [平成15年度版]』東洋経済新報社．

授業予定

回	日	内容	井堀	図説
1	4/17	イントロダクション		
2	4/24	財政の機能・役割	第1章	I-1,3
3	5/8	国家財政のしくみ 予算制度	第2章	II-1
4	5/15	国家財政のしくみ 歳入・歳出	第3章	III
5	5/22	地方財政のしくみ 国との財政関係	第8章	II-3
6	5/29	地方財政のしくみ 歳入・歳出	第8章	II-13
7	6/5	財政投融资のしくみ 入口	第6章	III-2
8	6/19	財政投融资のしくみ 出口	第6章	
9	6/26	公債をめぐる議論 制度と現状	第7章	
10	7/3	公債をめぐる議論 負担と中立命題	第7章	I-2
11	7/10	財政資金の流れ	第9章	II-4
12		財政のマクロ分析	第9章	
13		財政政策の有効性		I-2
14	7/	補講（予備日）		
15	7/	定期試験		